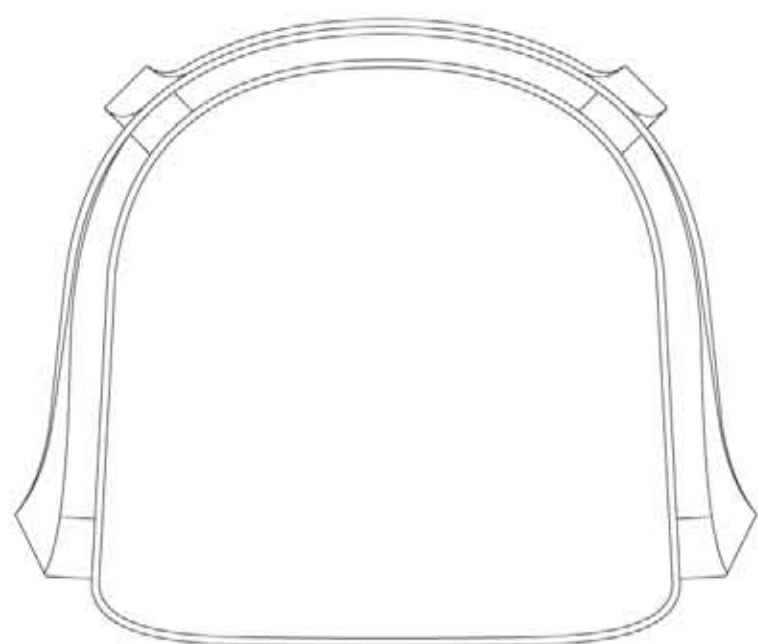


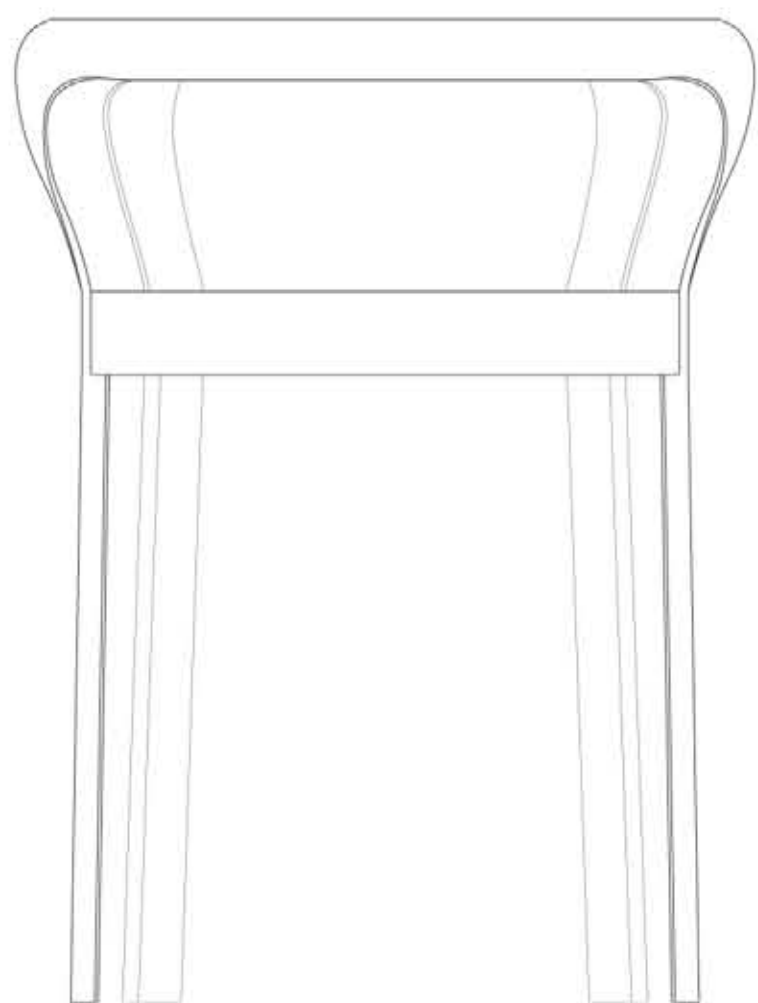


さわりたいくなる木の椅子 さわっていたい木の椅子

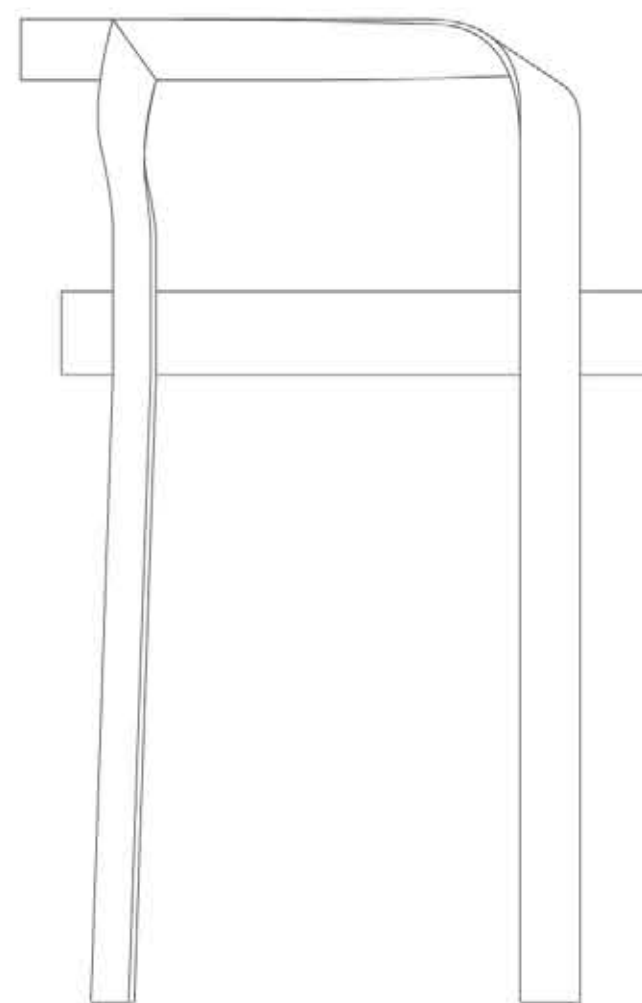
木の感触は他の素材では代えることの出来ない心地よさがあります。  
私たちは普段の生活の中で、つい手を伸ばして触れてしまうことがあります。  
例えば、服屋さんで素材を確かめたり、河原で石ころを拾って手の中で転がしてみたり、  
それらはとても原始的で、素材そのものを知ることができる行為です。  
そのような木のさわりたい心地を、日常生活の中で身体にもっとも近くに感じることのできる、アームチェアというかたちにしてみました。



plan



front



side

scale 1:5

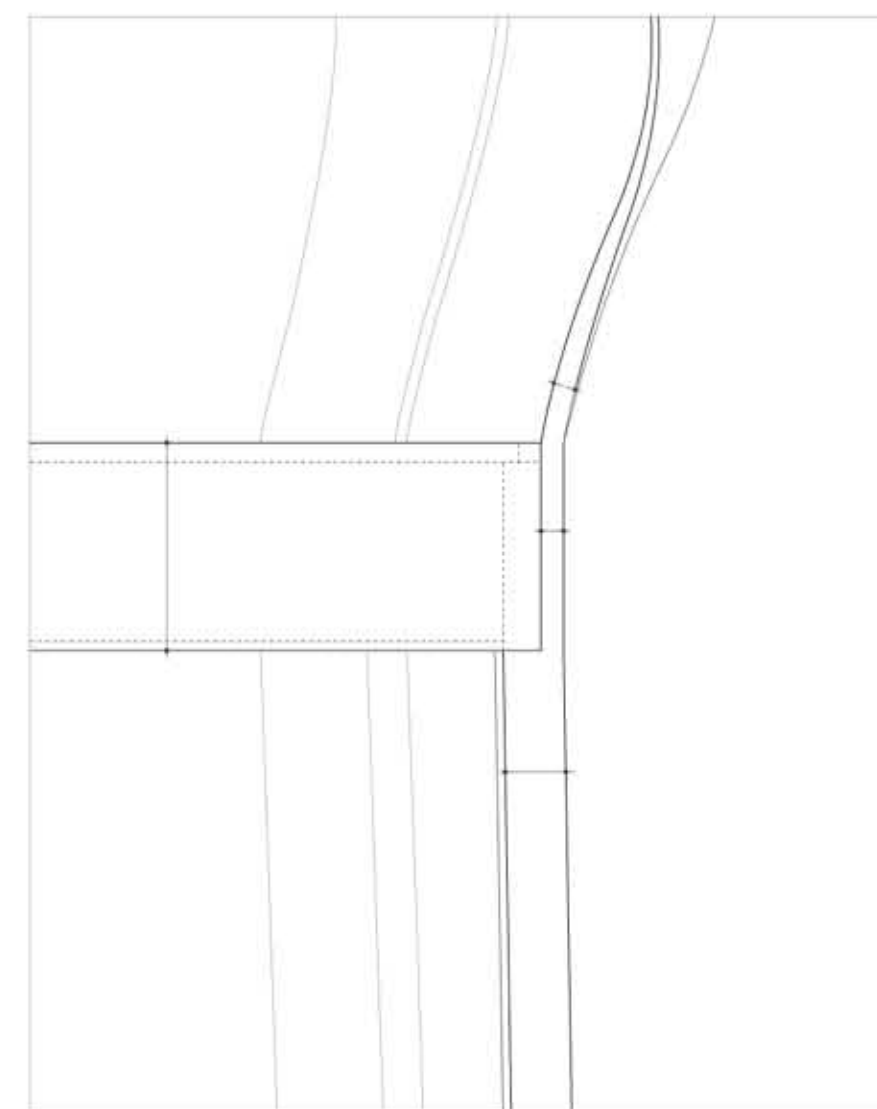
材料：ブナ（ソープフィニッシュ）

工法：曲木

サイズ：w500×d400×h590mm sh:415mm



3本のリボンが組み合わさってできたような、曲木でつくられるかたち。



座面裏の補強により脚の剛性を高める。

:mm

scale 1:2

#### すこし小さなかたち

日本の住宅や、日本人の身体に合わせた少し小さめのサイズ。

背もたれから肘掛けに、そして脚へとつながる滑らかな木に触れている時間は、クッションやスプリングの効いた椅子の効率的な時間とは別の豊かさ見つけられるのではないのでしょうか。

また、小さく軽いかたちは、スツールのように気軽に持ち運びができ、家の中のさまざまな場所で使うことが出来ます。時には庭に持ち出して、木の下の木陰で時間をすごしてみることで、自然やっぱんの木を近くに感じる暮らしのきっかけになるのではないかと考えてつくりました。